

学習情報グループの取り組みと課題

石川県立生涯学習センター
担当課長 竹内 裕之
(学習情報グループリーダー)

一 はじめに

石川県立生涯学習センターは、石川県の生涯学習推進の中核施設として、県民に対する学習機会や情報の提供を行うとともに、市町の生涯学習施策を支援している。

社会教育グループは、県民大学の運営や各種講座等の開催、市町職員等の資質向上を支援するための各種研修、市町での活動を目的とする県民大学校大学院の修了生を中心とした人材育成を行っている。また、学習情報グループは、生涯学習情報提供システム「あいあいネット」等による学習情報の提供や、生涯学習情報センターにおける学習相談・学習教材の貸出、県民企画展示「マナビイコーナー」の運営等を行うとともに、石川県視聴覚教育協議会の事務局として視聴覚教育の推進を図る業務も担当している。

ここでは、学習情報グループの主な取り組みやこれからの課題等について紹介したい。

二 生涯学習情報提供システム

「あいあいネット」

平成4年、県と市町・関連施設とパソコンで結び学習情報を県民



に提供する「生涯学習情報提供システム(あいあいネット)」の運用が開始された。平成6年には、24時間運用を始め、平成11年4月よりインターネットを通じた現在の情報提供の形になっている。

右は「あいあいネット」のトップページ画面である。県民の自主的な生涯学習活動を促進・援助するため、県や市町等の生涯学習情報をも提供できるような環境を整備している。現在、情報内容について、次の5分野について検索できる。①講座案内(：各種講座・講演会等に関する情報)②講師案内(：講演会・学習会等の講師や

地域の指導者に関する情報)③教材情報(：DVD・VHS・16ミリフィルムの教材に関する情報)④ふるさと情報(：県内の名所・史跡・名物・祭り等の情報)⑤イベント情報(：県内の各種事業・イベント・催し物等の情報)である。

高度情報化社会の現在、インターネット接続はブロードバンド接続が普通となり、動画映像のような大容量のデータを短時間に送信することが可能になった。これによりビデオオンデマンド(VOD)等、新しいサービスがすでに普及し始めている。当センターでも、来年度に予定している「あいあいネット」のシステム改修を機に、動画映像教材や当センター主催講座等の映像をインターネット配信できるようにし、県民がいつでも、誰でも、どこでも「生涯学習活動を実践できるように準備を進めている。

距離や時間の問題等で受講できない県民に対し、「いつでも、誰でも、どこでも」学習できる環境を整備することは必要課題であり、オンデマンド化が可能になれば、広く当センター並びに「県民

大・中学校」を周知するとともに、より多くの受講者の増加が見込める。また、講座等の撮影記録映像は貴重な資産となり、今後の講座に活用したり、視聴覚ライブラリーとして生涯学習情報センターで貸出できるメリットもある。

生涯学習情報提供システム「あいあいネット」の活用方法を広げ、県民の利便性を向上させることはすなわち生涯学習のさらなる活性化につながるものと考ええる。

三 生涯学習情報センター

生涯学習情報センターは、本多の森庁舎に入ってすぐの2階に位置している。ここでの業務は、視聴覚ライブラリーの映像教材の貸出、生涯学習情報に関する学習相談、県民企画展示「マナビイコーナー」の運営等を行っている。

視聴覚ライブラリーでは、16ミリフィルムやVHSビデオ、DVD等の視聴覚教材の貸出を行っている。現在の視聴覚教材の保有状況は、16ミリフィルム…一、一五五七本、VHSビデオ…六、〇一六本、DVD…一、〇四八本などを保有しており、公民館や学校をはじめとする機関や団体、及び



2F館内図

高校生以上の県民の方々に無料で貸出し、講座や授業など生涯学習活動に活用していただいている。近年、映像等のデジタル化にもない高画質・高音質が普通になり、一般家庭の映像機器も昨年からの地上デジタルテレビ放送開始に合わせ、大画面・高画質・高音質の機器がすでに普及している。そのため映像教材貸出利用者からもDVD教材の充実拡大を望む声が大きいが、したがって、16ミリフィルムやVHSビデオといったアナログ教材の貸出数は大きな減少となっているのは残念である。DVD教材の充実に向けては、

予算的な制約もあり大幅な教材購入は難しい状況ではあるが、県民の声に対応した取り組みを進められている。16ミリフィルムにおいては、本県の自然や伝統産業、芸能文化、スポーツ等に関する貴重な映像が収録されたものもあり、これらの記録映像の一部を将来にわたって確実に保存し、長く学習教材として活用するためにデジタル化し、DVD教材として複製している。また、これまで県民大学校放送利用講座であった「いしかわ人国記」や「いしかわ大百科」の収録ビデオ約四〇〇本を番組制作局の了解を得て、VHSテープからDVDへの複製を行い、貸出を行っている。さらに、「あいあいネット」からのインターネット配信を念頭に、当センターの主催講座を映像化するなど、デジタル教材の自主制作も進めていく予定である。

今後、当センター視聴覚ライブラリーの特色を生かしながら、県民の方々の学習ニーズにできるだけ応え、地域から継続して必要とされるライブラリーとして、広報に力を入れながらその運営を行っていきたいと考えている。

県民企画展示「マナビィコーナー」は平成18年6月より開始されている。「ふるさと学びコーナー（市町生涯学習情報コーナー）」から模様替えされ、県民の方々が取り組んだ生涯学習の成

果の展示発表と交流の場として利用してもらう企画としてスタートした。展示作品等が非営利で公序良俗に反しないものであれば、県民の誰もが利用できる。個人が趣味とする絵画や手工芸作品等の展示、公民館などでのサークル活動の発表、さらには各種学校・団体における学習成果・活動の紹介・発表など、幅広いジャンルの展示を期待している。展示期間は2〜4週間で、今年度は次のように利用していただいている。

- ・「山ほうし会」水彩画作品展
 - ・「くるみ書道会」書道作品展
 - ・「牛歩会」篆刻展
 - ・「金沢市シルバー人材センター」手作りの竹灯籠の展示
 - ・「大道塾」ケナフ和紙作品展
 - ・「伊戸川和子」絵画と写真展
 - ・「日本海内灘砂丘風の会」日本の風展
 - ・石川県児童生徒俳句作品展
 - ・「鶴峰会」陶芸作品展
 - ・「山崎文子」木版画作品展
 - ・「笠島信夫」絵画展
 - ・石川県民大学校ポスター等
 図案作品展
 - ・「菊池夕子」ペーパークラフト作品展
- 一般県民の方々の生涯学習成果の発表の場として、公民館など地域コミュニティ施設だけにとどまらず、この「マナビィコーナー」も発表の場・交流の場として大いに活用していただきたい。

四 石川県視聴覚教育協議会

学習情報グループは、石川県視聴覚教育協議会の事務局としての業務も担当している。

石川県視聴覚教育協議会は、本県の視聴覚教育の振興発展に寄与することを目的に昭和42年に設立され、視聴覚教育に関する研究奨励及び指導者研修、学習情報の交換のための事業等を行っている。主な事業は、次の通りである。

- ①視聴覚教育・生涯学習に関わる方々を対象に、視聴覚教育に関する講演会「視聴覚セミナー」の開催。
- ②生涯学習センタービデオクラブの方々に講師を迎えての「県民映像カレッジ」、これはビデオカメラの使い方や映像の編集を学ぶ講座である。
- ③生涯学習に携わる方々を対象とした「ICT活用講座」、今年度はブログに関する講習会とした。
- ④43回目の「いしかわビデオ作品コンクール」の開催。
- ⑤「情報技術活用研修」として県内市町や生涯学習施設に対して助成を行う。

五 おわりに

県民の方々が「いつでも、誰でも、どこでも」生涯学習活動を行える環境を整備することは当センターの大きな役割である。出前講座の実施やインターネット配信により、空間的・時間的に学習機会を拡大し、県民の生涯学習活動のさらなる活性化を狙いたい。